

佐渡・越後の文化交流史研究

研究代表者 原 直 史

プロジェクトの概要

佐渡および越後地域をめぐる文化交流について、歴史、考古、地理、民俗、社会思想史、文学等の各分野から、現地調査を加味しつつ、研究資料・研究文献を広く調査蒐集し、日本列島における東西文化交流と定着について総合的、実証的研究をすすめる。具体的には両地域を中心とした地域の古文書や文学資料、古地図、遺跡発掘データの収集と検討、民俗学的事例研究などを通して当該地域の文化交流について考察する。

メンバーはそれぞれ精力的に研究成果を発表しているが、ここではプロジェクトの活動として行った研究会・研究報告書刊行等についてのみ報告する。

プロジェクト参加者

橋本博文 阿部昭典 白石典之 中林隆之 矢田俊文 原 直史(代表者)
中村 元 池田哲夫 飯島康夫 堀 健彦 中本真人 芳井研一(フェロー)
鈴木孝庸(フェロー) 荻美津夫(フェロー)

2013年度の活動

1. 研究雑誌の発行

『佐渡・越後文化交流史研究』第15号(2015.3)

芳井研一「戦前期新潟県行政文書の特色と意義」

池田哲夫「鬼太鼓の研究をめぐる

— 先行研究と本間雅彦氏のノート —」